

2025年度
一般社団法人奈良県介護福祉士会
総会議案書

日 時 2025年6月15日（日） 10:00～11:00

場 所 かしはら万葉ホール 4F 研修室1

〒634-0075 奈良県橿原市小房町 11-5

【第1号議案】

2024年度事業報告書（案）について

添付資料

2024年度事業報告書（案）

自 2024年4月 1 日

至 2025年3月31日

一般社団法人奈良県介護福祉士会は、2024年度における定款第4条に定める事業を、下記のとおり推進した。

1. 調査研究及び研修事業

介護福祉士の知識、技術の向上等に関する調査研究及び介護福祉士の倫理、資質の向上のため、次の研修を計画実施した。

(1) 看取り研修

令和6年4月27日(土)

奈良県社会福祉総合センターにおいて実施 受講者：9名

講師：ホッとスペース中原 代表 佐々木 炎氏

(2) 基本研修（全4日間）

令和6年5月20日（月）、令和6年6月20日（木）

令和6年8月24日（土）、令和7年3月8日（土）

奈良県社会福祉総合センターにおいて実施。

<1日目>倫理とマナー 受講者：6名

講師：奈良県介護福祉士会 会長 久保 優子

<2日目>法令順守 受講者：6名

講師：奈良県介護福祉士会 副会長 吉田 勉

<3日目>介護過程の展開 受講者：12名

講師：奈良県介護福祉士会 監事 武田 千幸

<4日目>プライバシーの保護 受講者：7名

講師：奈良県介護福祉士会 理事 笠松 宏記

(3) 家族介護者教室 香芝市地域包括支援センター(全2回)

〈1回目〉令和6年6月11日(火) 香芝市総合福祉センター3階会議室2において

『家族の認知症について』実施 受講者：9名

講師：奈良県介護福祉士会 会長 久保 優子

〈2回目〉令和6年9月3日(火) 香芝市総合福祉センターにおいて

『笑いヨガで明るい毎日』受講者：7名

講師：笑いヨガインストラクター 岩淵 恵美子氏 その他1名

(4) 令和6年度介護福祉士実習指導者講習会(全2回)

〈1回目〉令和6年6月29日(土)・令和6年7月13日(土)

令和6年7月28日(日)・令和6年8月3日(土)

奈良県社会福総合センターにおいて実施。受講者：21名

〈1日目〉講師：大阪介護福祉士会 会員 池谷 美紀氏

〈2日目〉講師：同朋大学社会学部 准教授 牛田 篤氏

〈3日目〉講師：奈良県介護福祉士会 監事 武田 千幸

〈4日目〉講師：同朋大学社会福祉学部 准教授 牛田 篤氏

同朋大学社会福祉学部

〈2回目〉令和7年1月23日(木)・令和7年1月30日(木)・

令和7年2月19日(水)・令和7年2月24日(月)

かしはら万葉ホールにおいて実施。受講者10名

〈1日目〉講師：大阪介護福祉士会 会員 池谷 美紀氏

〈2日目〉講師：大阪介護福祉士会 会員 池谷 美紀氏

〈3日目〉講師：奈良県介護福祉士会 監事 武田 千幸

〈4日目〉講師：同朋大学社会福祉学部 准教授 牛田 篤氏

(5) 令和6年度介護職種の技能実習指導員講習(全2回)

〈第1回〉令和6年9月2日(月)

奈良県社会福総合センターにおいて実施。受講者52名

講師：大阪介護福祉士会 寝屋川石津園 施設長 荒木 大輔氏

大阪介護福祉士会 会長 浅野 幸子氏

社会福祉法人空心福祉会 総合アドバイザー 友次 勝彦氏

<第2回> 令和6年12月20日(金)

奈良県社会福祉総合センターにおいて実施。受講者27名

講師：大阪介護福祉士会 会長 浅野 幸子氏

大阪介護福祉士会 副会長 重松 義成氏

社会福祉法人空心福祉会 総合アドバイザー 友次 勝彦氏

(6) 外国人介護人材のための介護福祉士国家資格取得支援講座(全5日)

令和6年9月30日(月)・令和6年10月1日(火)・令和6年10月2日(水)

令和6年11月20日(水)・令和6年12月10日(金)

奈良県社会福祉総合センターにおいて実施。受講者10名 合格率40%

<1日目>講師：奈良県介護福祉士会 理事 笠松 宏記

<2日目>講師：奈良県介護福祉士会 監事 武田 千幸

奈良県介護福祉士会 理事 坂口 友良

<3日目>講師：奈良県介護福祉士会 会長 久保 優子

奈良県介護福祉士会 副会長 吉田 勉

<4日目> 模試の為講義はなし

担当：奈良県介護福祉士会 推進委員 門田 眞吾

奈良県介護福祉士会 副会長 吉田 勉

<5日目>講師：奈良県介護福祉士会 監事 武田 千幸

奈良県介護福祉士会 推進委員 門田 眞吾

(7) 現場目線のBCPと高齢者虐待について

令和6年11月20日(水)

かしはら万葉ホール 研修室1において実施 受講者：2名

高齢者虐待 講師：奈良県介護福祉士会 会長 久保 優子

現場目線のBCP 講師：奈良県介護福祉士会 副会長 吉田 勉

(8) 介護福祉士国家試験対策模擬テスト

令和6年12月1日(日)

かしはら万葉ホールにおいて実施。受験者8名

担当：奈良県介護福祉士会 会長 久保 優子

奈良県介護福祉士会 副会長 吉田 勉

奈良県介護福祉士会 推進委員 門田 眞吾

2. 広報啓発事業

(1) ホームページにて研修等開催情報を広報

(2) 会員広報の伝達

公益社団法人日本介護福祉士会会報及び、介護福祉士に関連する資料、研修開催のチラシ等を会員に発送伝達。(2ヶ月に1回)
他団体と連携し、研修の告知を実施。

(3) 介護の日啓発活動

令和6年11月2日(土)

橿原神宮前駅中央出口にて「介護の日の」周知のため、チラシ及び除菌ウェットティッシュを配布。介護の日を広く周知する為の啓発活動を行った。

理事2名参加

(5) 令和6年度福祉就職説明会、資格取得相談コーナー

令和7年3月16日(日)

奈良県コンベンションセンターにて開催

理事1名参加

3. 会員獲得活動

研修ごとに入会申込書を配布し、会の活動や意義について説明し新規入会を促進した。

4. 関係機関等への派遣

(1) 介護認定審査会委員

関係機関団体から介護認定審査会委員委嘱依頼を受け認定審査会に派遣した。

奈良市：久保 優子 吉田 勉 藤井 朝子 藤井 秀政

天理市：福井 武史

(2) 公益社団法人奈良県看護協会 2024年度総会に出席

令和6年6月15日(土) 副会長 吉田 勉

(3) 奈良県災害支援ネットワーク(DWAT)連絡会に出席

令和6年7月30日(火) 理事 笠松 宏記

(4)奈良県福祉人材センター運営委員会に出席

令和6年7月23日(火) 会長 久保 優子

(5)奈良市主催の「奈良県介護の日」に運営委員として奈良県女性センターにて会合に出席

令和6年7月31日(水) 副会長 吉田 勉

(6)厚生労働省 令和6年度 介護の日本語学習支援等事業の外国人介護人材のための介護福祉士国家資格取得支援講座講師養成研修

令和6年7月20日(土)～令和6年7月21日(日)

会長 久保 優子 副会長 吉田 勉 理事 坂口 友良

(7)公益財団法人日本介護福祉士会主催の第31回全国大会

第22回日本介護学会inしまねに参加

令和6年11月15日(金)～令和6年11月16日(土)

会長 久保 優子

(8)奈良佐保短期大学ゲストスピーカー依頼

令和6年11月21日(木)

会長 久保 優子

(9)奈良県社会福祉協議会福祉研修運営委員会に出席

令和7年1月9日(木)

会長 久保 優子

5. 奈良県介護福祉士会推進委員の募集

研修やイベントのサポートを会員から募集。随時受付

6. 会 議

(1) 総 会

(ア) 令和6年度総会

6月16日(日) 奈良県社会福祉総合センター研修室Aにて開催

(2) 理事会

(ア) 令和6年4月27日(土) 奈良県社会福祉総合センターにて開催

出席3名 欠席2名

(イ) 令和6年5月12日(日) 奈良県介護福祉士会事務所にて開催

出席3名 欠席2名

(ウ) 令和6年6月29日(土) 奈良県社会福祉総合センターにて開催

出席3名 欠席2名

(エ) 令和6年7月28日(日) 奈良県社会福祉総合センターにて開催

出席3名 欠席2名

(オ) 令和6年12月10日(火) 橿原文化ホール 講師控室にて開催

出席3名 欠席2名

(カ) 令和7年3月1日(土) 奈良県介護福祉士会事務所にて開催

出席4名 欠席1名

(4) 全国会長会等

(ア) 全国都道府県会長会議

第1回全国都道府県会長会議

令和6年6月20日(木) (リモート出席) 久保会長

第2回全国都道府県会長会議

令和6年8月23日(金)・8月24日(土) 久保会長

第3回全国都道府県会長会議

令和6年12月5日(金) (リモート出席) 久保会長

第4回全国都道府県会長会議

令和7年3月21日(金) (リモート出席) 久保会長

【第 2 号議案】

2 0 2 4 年度決算報告書（案）について

提案理由

定款 4 5 条の規定に基づき、決算報告書の承認を得ようとするもの。

添付資料

2 0 2 4 年度収支計算書（案）（貸借対照表、正味財産増減計算書事業収支）

貸借対照表			
令和7年3月31日現在			
一般社団法人奈良県介護福祉士会			(単位:円)
科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	2,529,992	1,128,339	1,401,653
現金	0	25,952	△ 25,952
普通預金	2,529,546	1,101,941	1,427,605
郵便貯金	0	0	0
郵便振替口座	446	446	0
未収金	0	0	0
前払い費用	0	25,000	△ 25,000
仮払金	60,155	63,000	△ 2,845
流動資産合計	2,590,147	1,216,339	1,373,808
2. 固定資産			
(1)基本財産			0
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他の固定資産			
什器備品	108,267	0	108,267
差入保証金	0	0	0
その他固定資産合計	108,267	0	108,267
固定資産合計	108,267	0	108,267
資産合計	2,698,414	1,216,339	1,482,075
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	348,640	56,030	292,610
預り金	44,610	19,457	25,153
未払消費税等	0	0	0
仮受金	12,655	0	12,655
前受収益	0	0	0
流動負債合計	405,905	75,487	330,418
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	405,905	75,487	330,418
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	2,292,509	1,140,852	1,151,657
正味財産合計	2,292,509	1,140,852	1,151,657
負債及び正味財産合計	2,698,414	1,216,339	1,482,075

正味財産増減計算書			
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで			
一般社団法人奈良県介護福祉士会			
科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	0	0
受取会費	1,113,500	1,164,000	△ 50,500
正会員会費	1,113,500	1,164,000	△ 50,500
賛助会員会費(団体会員)	0	0	0
賛助会員会費(個人会員)	0	0	0
事業収益	2,768,376	1,328,577	1,439,799
認定審査収入	0	296,537	△ 296,537
受取助成金(県助成金)	0	0	0
日介受取助成金	143,820	713,040	△ 569,220
日介受取委託金	1,264,080		1,264,080
受取参加費	2,000	0	2,000
受取研修費	1,316,476	277,000	1,039,476
受取委託金	42,000	42,000	0
受取広告収入	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
雑収益	825	34,906	△ 34,081
受取利息	825	4	821
雑収入	0	34,902	△ 34,902
経常収益計	3,882,701	2,527,483	1,355,218
(2) 経常費用			
① 事業費	2,543,731	595,358	1,948,373
広告宣伝費	259,130	109,000	150,130
通信運搬費	326,800	151,300	175,500
支払手数料	23,925	0	23,925
賃借料	587,442	87,820	499,622
地代家賃	300,000	0	300,000
水道光熱費	36,129	0	36,129
租税公課	10,400	0	10,400
減価償却費	54,133	0	54,133
旅費交通費	257,324	18,550	238,774
会議費	84,375	42,879	41,496
諸謝金	371,471	114,140	257,331
渉外活動費	71,561	27,955	43,606
消耗品費	42,628	28,888	13,740
雑費	118,413	14,826	103,587

②管理費	187,313	1,033,438	△ 846,125
雑給	30,000	89,000	△ 59,000
諸謝金	3,000	91,296	△ 88,296
会議費	4,740	19,210	△ 14,470
旅費交通費	31,760	71,810	△ 40,050
通信運搬費	106,878	143,335	△ 36,457
支払手数料	935	50,575	△ 49,640
賃借料	0	160,799	△ 160,799
地代家賃	0	300,000	△ 300,000
水道光熱費	0	39,757	△ 39,757
租税公課	0	1,960	△ 1,960
広告宣伝費	0	0	0
減価償却費	0	0	0
渉外活動費	10,000	33,884	△ 23,884
消耗品費	0	22,357	△ 22,357
雑費	0	1,820	△ 1,820
経常費用計	2,731,044	1,628,796	1,102,248
評価損益等調整前当期経常増減額	1,151,657	898,687	252,970
基本財産評価損益等	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,151,657	898,687	252,970
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
	0	0	0
経常収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
法人税等			0
当期一般正味財産増減額	1,151,657	898,687	252,970
一般正味財産期首残高	1,140,852	242,165	898,687
一般正味財産期末残高	2,292,509	1,140,852	1,151,657
II 指定正味財産増減の部			
	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,292,509	1,140,852	1,151,657

令和7年5月17日

一般社団法人奈良県介護福祉士会
会 長 久保 優子 殿

一般社団法人奈良県介護福祉士会

監 事 武田 千幸 

監 事 浅野 幸子 

監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

【第 3 号議案】

定款変更（案）について

現 行	変 更（案）
第 4 章・第 1 3 条（種類及び定数） 2 理事のうち、1 名を会長とする。 また、1 <u>名</u> の副会長を置くことができる。 ～省 略～	第 4 章 第 1 3 条（種類及び定数） 2 理事のうち 1 名を会長とする。 また、1 <u>名以上</u> の副会長を置くことができる。 ～省 略～

提案理由

- 第 4 章 第 3 条（種類及び定数）：2 1 名の副会長を 1 名以上に変更
理由：会員数増員に向けた活動を行う為、組織強化を図る。

【第 4 号議案】 役員改選の件（案）

理事

（敬称略 五十音順）

	候補者氏名	所信表明
理 事	笠松 宏記	昨年より活動を開始した推進委員をはじめ、会員の方が所属意識を持って奈良県介護福祉士会と一緒に盛り上げていけるよう尽力いたします。
理 事	久保 優子	奈良県の福祉の増進と、介護福祉士の資質の向上、地位向上に寄与できるよう、努力精進いたします。
理 事	坂口 友良	介護福祉士の専門性を磨き、研修にも力を入れた活動をしていきます。
理 事	吉田 勉	近年、介護業界は年々離職率が増加し、介護の現場では人手不足になっております。この状況を改善するための一助となれるよう、頑張っていきたいです。
理 事	柳下 健	外部理事として、多角的な視点から介護福祉士のお力になれば幸いと存じます。

監事

（敬称略 五十音順）

	候補者氏名	
監 事	浅野 幸子	
監 事	武田 千幸	

日本介護福祉士会 倫理基準(行動規範)

(利用者本位、自立支援)

1. 介護福祉士は、利用者をいかなる理由においても差別せず、人としての尊厳を大切にし、利用者本位であることを意識しながら、心豊かな暮らしと老後が送れよう介護福祉サービスを提供します。
2. 介護福祉士は、利用者が自己決定できるように、利用者の状態に合わせた適切な方法で情報提供を行います。
3. 介護福祉士は、自らの価値観に偏ることなく、利用者の自己決定を尊重します。
4. 介護福祉士は、利用者の心身の状況を的確に把握し、根拠に基づいた介護福祉サービスを提供して、利用者の自立を支援します。

(専門的サービスの提供)

1. 介護福祉士は、利用者の生活の質の向上を図るため、的確な判断力と深い洞察力を養い、福祉理念に基づいた専門的サービスの提供に努めます。
2. 介護福祉士は、常に専門職であることを自覚し、質の高い介護を提供するために向上心を持ち、専門的知識・技術の研鑽に励みます。
3. 介護福祉士は、利用者を一人の生活者として受けとめ、豊かな感性を以て全面的に理解し、受容し、専門職として支援します。
4. 介護福祉士は、より良い介護を提供するために振り返り、質の向上に努めます。
5. 介護福祉士は、自らの提供した介護について専門職として責任を負います。
6. 介護福祉士は、専門的サービスを提供するにあたり、自身の健康管理に努めます。

(プライバシーの保護)

1. 介護福祉士は、利用者が自らのプライバシー権を自覚するように働きかけます。
2. 介護福祉士は、利用者の個人情報を収集または使用する場合、その都度利用者の同意を得ます。
3. 介護福祉士は、利用者のプライバシーの権利を擁護し、業務上知り得た個人情報について業務中か否かを問わず、秘密を保持します。また、その義務は生涯にわたって継続します。
4. 介護福祉士は、記録の保管と廃棄について、利用者の秘密が漏れないように慎重に管理・対応します。

(総合的サービスの提供と積極的な連携、協力)

1. 介護福祉士は、利用者の生活を支えることに對して最善を尽くすことを共通の価値として、他の介護福祉士及び保健医療福祉関係者と協働します。
2. 介護福祉士は、利用者や地域社会の福祉向上のため、他の専門職や他機関と協働し、相互の創意、工夫、努力によって、より質の高いサービスを提供するように努めます。
3. 介護福祉士は、他職種との円滑な連携を図るために、情報を共有します。

(利用者ニーズの代弁)

1. 介護福祉士は、利用者が望む福祉サービスを適切に受けられるように権利を擁護し、ニーズを代弁していきます。
2. 介護福祉士は、社会にみられる不正義の改善と利用者の問題解決のために、利用者や他の専門職と連帯し、専門的な視点と効果的な方法により社会に働きかけます。

(地域福祉の推進)

1. 介護福祉士は、地域の社会資源を把握し、利用者がより多くの選択肢の中から支援内容を選ぶことができるよう努力し、新たな社会資源の開発に努めます。
2. 介護福祉士は、社会福祉実践に及ぼす社会施策や福祉計画の影響を認識し、地域住民と連携し、地域福祉の推進に積極的に参加します。
3. 介護福祉士は、利用者ニーズを満たすために、係わる地域の介護力の増進に努めます。

(後継者の育成)

1. 介護福祉士は、常に専門的知識・技術の向上に励み、次世代を担う後進の人材の良き手本となり公正で誠実な態度で育成に努めます。
2. 介護福祉士は、職場のマネジメント能力も担い、より良い職場環境作りに努め、働きがいの向上に努めます。